

須賀川市

芭蕉記念館

かわら版

第4号
平成29年3月

俳句ポスト受賞作品

受賞句

受賞句決定!

平成29年2月1日、須賀川市内23か所と小中学校に設置している俳句ポストに投句された俳句を選考しました。

今年は、3,738名より9,205句の投句がありました。

*最も優れた作品である年間特選と秀逸句を紹介しま

特選句

牡丹賞

少年に戻る一夜や松明あかし

渡辺 圭子

ぼたん賞

せみの声ひかりのようにおちていく

西村怜太郎
須二小5年

赤松賞

前向かせ後ろを向かせ初浴衣

関根 邦洋

あかまつ賞

長沼小山にかこまれ夏の顔

山口 京桜
長沼小4年

翡翠賞

色褪せし田善の画や秋深し

鹿目 勤六

かわせみ賞

稲刈って少しさびしい田んぼ道

野崎 聖奈
須二中2年

*4月には、表彰式が予定されています。

牡丹

幼い頃より、父に連れられ、学友とそして、母になり子供たちを連れて行った作者と五老山で中学生がスクラムを組み校歌を合唱している姿を重ね合わせ《松明あかし》をよんだ句です。

赤松

昔、作者に母が浴衣を作り、身丈を測るため待ち針のついた浴衣を着せる折、前と後ろの具合を見定めるため、母の上下する視線に暖かさを感じたと昔を懐かしんだ句です。

翡翠

恩師の米寿(べいじゆ)と生徒のブレ古希を祝った同級会の帰りに須賀川に訪れ、亜欧堂田善の画をみてよんだ句です。恩師のことを想い、時の流れを感じる色合いの画をみて心に思うことを込めてよみました。

かわせみ

わみ農業している祖父の家で、稲刈りの前は稲穂が盛り一面に黄金色に輝いたのが、稲刈りの後かさは、跡形もなくがらんとし、そこを通るたびにさびしくなった気持ちよんだ句です。

年間入選句

*年間入選句は、年間において、優秀であった作品

かきごおりおとうとのりくめをつぶる
ゆきだるまなに見てるのきになるな
かぜひいてかいきんしょうがきえていく
きたかぜがまどのすきまであうなってる
かしわもち葉っぱのにおいがのこってる
すきとおるつららにうつるあぶくま小
秋の雲運動着入れふくらんだ

阿武隈小一年 川口 彩香
白江小一年 石巻 音彩
阿武隈小二年 八巻 龍成
大森小三年 関根 姫葵
柏城小四年 小池こはる
阿武隈小四年 黒沢 優奈
柏城小五年 佐久間美奈

第二回選句会入選句

第二回の総投句数は5,498句でした。

一般の部

入選句8句

色褪せし田善の画や秋深し
新聞のはや朝寒をまとい来し
法師蟬台詞を全て言ひ尽くす
少年に戻る一夜や松明あかし
前向かせ後ろを向かせ初浴衣
冬あたたか枝折戸を押す源太郎
いつまでも去りがたく居る牡丹園
ふらここやむかしこの地に牧師館

鹿目 勤六
鶴沼 操
納谷 一光
渡辺 圭子
関根 邦洋
大河原政夫
布川 澄夫
道山はるか

松明あかしII須賀川では季節にしようよみ続けられています。

法師蟬II
ツクツクボウシ

源太郎II

ぼたん園の基礎を作った人

ふらここII

むらここII

きたかぜがまどのすきまでうなつてる
ちゆうしやじょうどんぐりひとつみつけたよ
ふゆのあさいきがわたあめみたいだよ
たいふうだいえのなかでもおとがする
きたへゆくはくちよう田んぼでひとやすみ
ゆきだるまなに見てるのきになるな
よろこんでくれるといいなねんがじよう
もみじのはぼくのノートのスタンプだ
かぜひいてかいきんしようがきえていく
どんぐりをどかんの中にかくしとく
ねこじやらし風にふかれて音がする
木の下でどんぐりずっとかくれんぼ
夏がきた頭すつきりかりあげだ
秋の雲かみなり様をのせていく
寒いけど母の手にふれあつたかい
小塩江の緑ふみしめぼく歩く
日があたり海のようにだねすすきはら
足音で寒さつたえるしもばしら
満月や宿題終わって電気消す
すきとおるつららにうつるあぶくま小
よるこんでひろったくりに虫のあな
クリスマスドキドキしながらねむる夜
ストーブでくもるガラスに顔を書く
本借りて読まずに終わる冬休み
しも柱たおして歩くまわり道
バトンパス一つの秋をうけわたす
秋の雲運動着入れふくらんだ
はばとびのいたをけつたら秋の空
教室をさんまのおいとおつてく
夕暮れの街は静かや翳雲
稲刈って少しさびしい田んぼ道
枯木には一人のようなさびしさが

大森小3年 関根 姫葵
阿武隈小1年 羽田 夢香
阿武隈小1年 藁谷 汐里
柏城小1年 小林 大知
白方小1年 七海 匠
白江小1年 石巻 音彩
白江小1年 渡邊 心花
阿武隈小2年 柳沼 碧之
阿武隈小2年 八巻 龍成
長沼小2年 内山 恵吾
長沼小2年 大森 美咲
長沼小2年 深谷 結依
西袋一小3年 佐藤 駿
西袋一小3年 佐藤 ほか
稲田小3年 野地 桜綾
小塩江小3年 芳賀 絆生
柏城小3年 鈴木 竜也
白江小3年 後藤 海輝
稲田小4年 高柳 琉那
阿武隈小4年 黒沢 優奈
柏城小4年 鈴木 穂乃華
大森小4年 石井 里歩
稲田小5年 大竹 日菜子
稲田小5年 深谷 姫菜
小塩江小5年 福田 優紀
小塩江小5年 佐々木 望愛
柏城小5年 佐久間 美奈
柏城小5年 柴原 陵太
柏城小5年 山寺 奈摘
須二中2年 近内 美咲
須二中2年 野崎 聖奈
岩瀬中3年 本田 泰聖

(入選された方々には記念品と入選作品集をお送りします。)

HAIKU

海外の方からの投句がありました。

Autumn lose colour town by the river hUmming
Mountains looking down *Peter Evans さん(オーストラリア)
—須賀川の躍動感あふれる行事に
触れながらまちの美しさを詠んだ句—
文化や季節感が異なる海外の俳句が増えるといいですね♪

投句募集

俳句
ポスト
〈選句会・発表〉年二回
〈賞〉記念品、作品集

つぶやきを亀にうつして鳴かせけり 真砂女
猫の恋 おたまじゃくし 山笑う しゃぼん玉
熊穴を出づ ぶらんこ 花冷え 花づかれ
こはるびより
〈小春日和〉春の季節ではなく、初冬の季節です
立冬が過ぎたころの春のようなポカポカした日！

おもしろい季語

： 亀鳴く。：
かめつて鳴くの？鳴きそうな顔をして
いますが、聞いたことはないですよ。春の夕暮
れ、それともおぼろの夜、冬眠からさめてかめが
鳴いたような気がするのかも。・
鳴くはずもないものが鳴かせるのが俳句のおも
しろいところですね。

言の葉

3月(弥生・やよい)
草木がいよいよ生い茂る「いや
おい」の月です。大地は初々
しく緑に染まり、やわらかな風が
ふきます。「桜月」「桃月」「夢見
月」「染色月」などの異称もあり
ます。

〔須賀川市芭蕉記念館かわら版
第4号〕をお届けします。

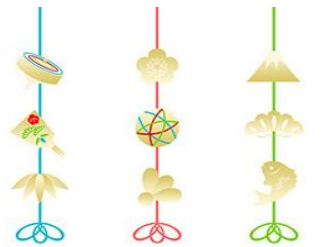
もうすぐ、色とりどりのラン
ドセルを背負って登校する一年
生の姿が微笑ましい季節です。
ドキドキわくわくと、春は大
人も何だかそわそわします。

館内の展示

雛やつるし飾り、春を彩る小
物や歳時記に合わせた資料を
展示しています。
4月は桜や牡丹の資料を飾り
《すががわ春の花歳時記》を
開催します。



犬宮(いぬぼこ)
犬をかたどつた不思議な張り子で作られた雌雄(めしゅう)の箱。



ちいさきものを集めたコーナー
日本人は昔から、小さな世界を愛で、こまかな小物細工がさかんに作られてきました。
立雛
奈良の一刀彫
大胆でせん細な彩色の絶妙な調和が特徴。奈良のみやびな文化が染み込んでいる奈良人形。